

募集要項

募集部門(対象)

【詩集部門】西脇順三郎賞

令和5年8月1日から令和6年7月31日までに刊行された現代詩の詩集

【詩篇部門】西脇順三郎賞新人賞

未発表の自作詩作品

(自作・未発表の詩1人2篇を上限)

募集期間

令和6年8月1日(木)～
10月31日(木)

表彰

【詩集部門】

西脇順三郎賞……………1点
正賞:賞状 副賞:30万円

【詩篇部門】

西脇順三郎賞新人賞…1点
正賞:賞状 副賞:3万円
(同奨励賞)……………2点
正賞:賞状 副賞:1万円

選考委員

野村喜和夫(委員長)
朝吹亮二(委員)
太田昌孝(委員)
加藤孝男(委員)
杉本真維子(委員)

50音順

贈呈式

令和7年3月(予定)



第3回

西脇順三郎賞

郷里の崖を祝福せよ
汝は汝の村へ歸れ



昭和8年、自宅の庭にて(撮影 藤村由)

主催 西脇順三郎賞実行委員会

(構成メンバー) 小千谷市、小千谷市教育委員会、西脇順三郎を偲ぶ会

共催 慶應義塾大学アート・センター

後援 新潟日報社、小千谷新聞社

応募・問い合わせ先

小千谷市ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。内
「西脇順三郎賞」事務局

〒947-0021 新潟県小千谷市本町1-13-35

電話番号: 0258-82-2724 E-mail: hontoka@city.ojiya.niigata.jp





〈「小千谷-信濃川」西脇順三郎画〉

西脇順三郎略年譜

- 1894年 1月20日、新潟県小千谷市に生まれる。
- 1914年 慶應義塾大学理財科入学
- 1920年 慶應義塾大学予科の英語教員となる。
- 1922年 大学の留学生としてイギリスに渡る。
- 1923年 オックスフォード大学入学
- 1924年 英国人画家マージョリ・ビドルと結婚。のち離婚。その後桑山冴子と結婚
- 1925年 英文詩集『Spectrum』を発表し反響を得る
ロンドンから帰国
- 1926年 慶應義塾大学文学部教授に就任
- 1927年 日本最初のシュルレアリスムアンソロジー「馥郁タル火夫ヨ」が西脇を中心となって刊行
- 1933年 詩集『Ambarvalia』を発表
- 1935年 この頃から戦時中を通じ、約10年間詩を発表しない。学術研究に没頭し水墨画に親しむ。
- 1947年 詩集『あむばるわりあ』『旅人かへらず』を発表
- 1957年 詩集『第三の神話』により、読売文学賞を受ける。
- 1961年 日本芸術院会員となる。
- 1962年 日本現代詩人会会長となる。
- 1975年 この頃から折りある毎に小千谷市に帰郷・滞在し、懐旧の地を巡歴する。
- 1979年 詩集『人類』刊行、最後の詩集となる。
- 1982年 6月5日、小千谷総合病院で、満88歳で亡くなる。

※1957年以降複数回ノーベル文学賞候補になった。



第三回

西脇順三郎賞

募集要項

汝は汝の村へ歸水
 郷里の崖を祝福せよ
 その裸の土を女に明た
 あけいゝ實は汝の靈魂の如く
 夏ゆく さかづみろ

西脇順三郎

〈詩「旅人」の一部を自らが記したもの〉

主催：西脇順三郎賞実行委員会【構成メンバー/小千谷市
小千谷市教育委員会 西脇順三郎を偲ぶ会】
共催：慶應義塾大学アート・センター
後援：新潟日報社 小千谷新聞社

第3回西脇順三郎賞募集要項

趣 旨 雪国小千谷の風土に生まれ偉大な詩業を成し遂げた西脇順三郎の遺徳を末永く後世に伝え、現代の詩界を担う詩人の称揚と次代を創る新人の発掘を図ることを目的とします。

募集部門

- ・詩集部門（西脇順三郎賞）
- ・詩篇部門（西脇順三郎賞新人賞）

【詩集部門】 現代詩界を担う詩人を称揚することを目的とします。

(1) 募集対象

令和5年8月1日から令和6年7月31日までに刊行された現代詩の詩集(表紙・奥付のあるもの)を対象とします。ただし、翻訳・復刻・再販・遺稿集・全詩集・選集・外国語による詩集は除きます。

(2) 募集方法 公募—自薦他薦を問いません。

- ・本人または推薦者が、封筒に「西脇順三郎賞」と朱書きの上、同じ詩集5部を事務局に送付してください。
- ・別紙に「西脇順三郎賞応募」と明記の上、
①郵便番号 ②住所 ③本名(ふりがな)
④生年月日 ⑤電話番号 ⑥(あれば)メールアドレスを記入し添付してください。
※ 送付された詩集は返却しません。
※ 受領書を希望する場合は、受領書送付先を記入した郵便はがきを同封してください。
- ・応募料は無料です。郵送料はご負担ください。

【詩篇部門】 次代を創る詩人を発掘することを目的とします。

(1) 募集対象

未発表の自作詩作品
(日本語で書かれた現代詩に限る)

(2) 募集方法

公募

- ・応募は郵送のみ受け付けます。
- ・封筒に「西脇順三郎賞新人賞」と朱書きの上、事務局に送付してください。
- ・自作・未発表の詩1人2篇を上限とします。
(未発表のものに限ります。※すでに発表されている作品との明らかな類似が認められた場合は授賞を取り消します)
- ・題名を含めA4版400字詰め原稿用紙3枚以内縦書き(パソコン使用の場合はA4版20字×20行の縦書き3枚以内) ※別紙に①郵便番号 ②住所 ③本名(ふりがな) ④生年月日 ⑤電話番号 ⑥(あれば)メールアドレス⑦著者名(ふりがな)を明記してください。
- ・応募料は無料です。郵送料はご負担ください。
- ・入賞作品の著作権(著作権法第27号及び28号の権利も含む)は主催者と著者に帰属し、公表及び使用に関しては双方、自由とする。
- ・作品は返却しません。
- ・応募後の内容変更は受け付けません。
- ・二重投稿は認めません。違反が明らかになった場合は授賞を取り消します。

両部門共通

(1) 応募期間

令和6年8月1日(木)～10月31日(木)
※締切日当日消印有効

(2) 応募・問い合わせ先

小千谷市ひと・まち文化共創拠点ホントカ。内
西脇順三郎賞事務局
〒947-0021 新潟県小千谷市本町1-13-35
電話番号：0258-82-2724
E-mail：hontoka@city.ojiya.niigata.jp

(3) 賞について

賞：各部門に次の賞を設けます。

【詩集部門】

西脇順三郎賞1点
正賞：賞状 副賞：30万円

【詩篇部門】

西脇順三郎賞新人賞1点
正賞：賞状 副賞：3万円
(同) 奨励賞2点
正賞：賞状 副賞：1万円

(4) 選考および発表

- ・令和6年11月～令和7年2月選考。その後入選者に通知します。
- ・発表は小千谷市ホームページに掲載します。

(5) 選考委員

野村喜和夫(委員長)
朝吹 亮二(委員) 太田 昌孝(委員)
加藤 孝男(委員) 杉本真維子(委員) 50音順

(6) 贈呈式

令和7年3月(予定)